

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名: 住宅改修相談事業	2-36
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他) 複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)	1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	森本 栄樹

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	高齢者等の住宅の居室等の改修希望に対し、相談に応じて助言を行う。		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	魅力あるまちづくりの推進	
	施策コード	20203	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	高齢者等の居宅生活の支援を行い、福祉の増進を図るため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	高齢者等が住みやすい住居で暮らし続けるようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	利用希望者から住宅の居室等の改修希望があったときに、住宅改修指導チーム(市職員や建築士の資格を有するものなどで構成)を設置し、当該利用者の居宅を訪問して相談に応じ、助言を行うことなどを行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	4	4	0	20
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	0	0	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	4	4	0	
事務に従事した正職員延べ人数				

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収 入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支 出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B) (A/B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
利用者数(名)	目標値	1	1	1	5
	実績値	1	1	0	
	達成率	100.0	100.0	0.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
住宅改修相談を受けて実際に居室等を改築等した人数(名)	目標値	1	1	0	5
	実績値	1	1	0	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい 2 普通 3 小さい	3	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか
(2) 効率性			ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	総合評価の参考にしてください。
			7~11 A or B
			12~15 B or C
			16~21 D or E
			16

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
D	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	利用者がいないことから、制度自体に問題があると考えます。	
(2) 今後の方向性・課題		介護保険制度による住宅改修の普及により、相談件数が減っておりH19では利用者がいない状況あり、本制度については、廃止の方向で検討を進める。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止	*	

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
D	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	適切な住宅改修アドバイスを提供するための事業ではあるが、ここ数年間利用者がいない。	
(2) 今後の方向性・課題		介護保険制度の浸透と共に、民間レベルにおいても適正なアドバイスが可能になった現状では、本事業の役割は終了している。今年度を持って廃止する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		